

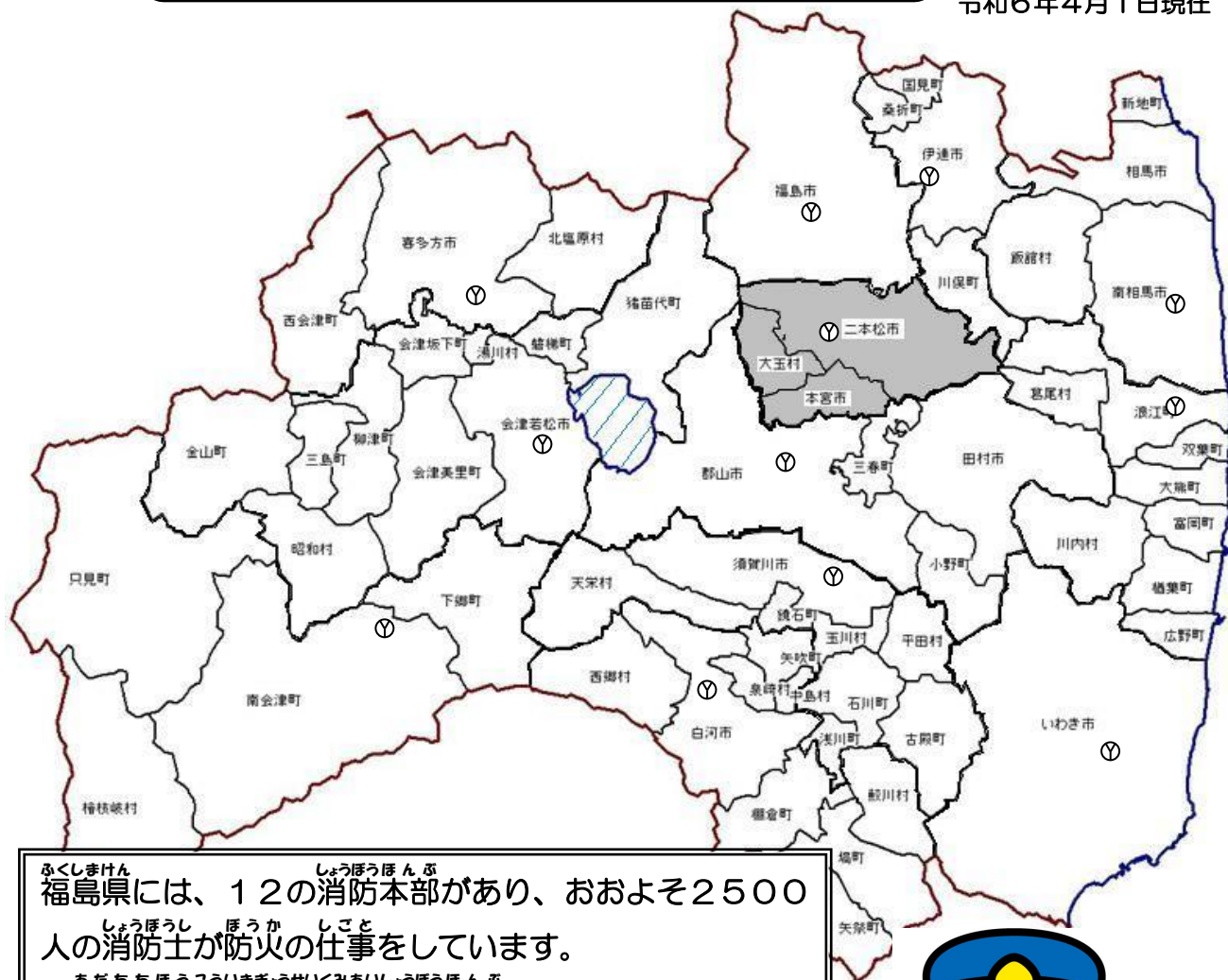
安達地方の消防



あだちほうこういぎぎょうせいくみあいしょうほうほんぶ
安達地方広域行政組合消防本部

けんない しょうほうほんぶ 県内の消防本部

令和6年4月1日現在 げんざい



ふくしまけん しょうほうほんぶ
福島県には、12の消防本部があり、およそ2500
人の消防士が防火の仕事をしています。

あだちちほうこういさぎょうせいくみあいししょうほうほんぶ
「安達地方広域行政組合消防本部」はそのうちのひとつ
で、120人の消防職員が活動しています。

また、ふくしまけん しょうほうぼうさい
福島県でも消防防災ヘリコプター（ふくしまくうこう）や
ドクターヘリ（けんりつだい）があり、けんないかくちとを
活躍しています。



ドクターヘリ



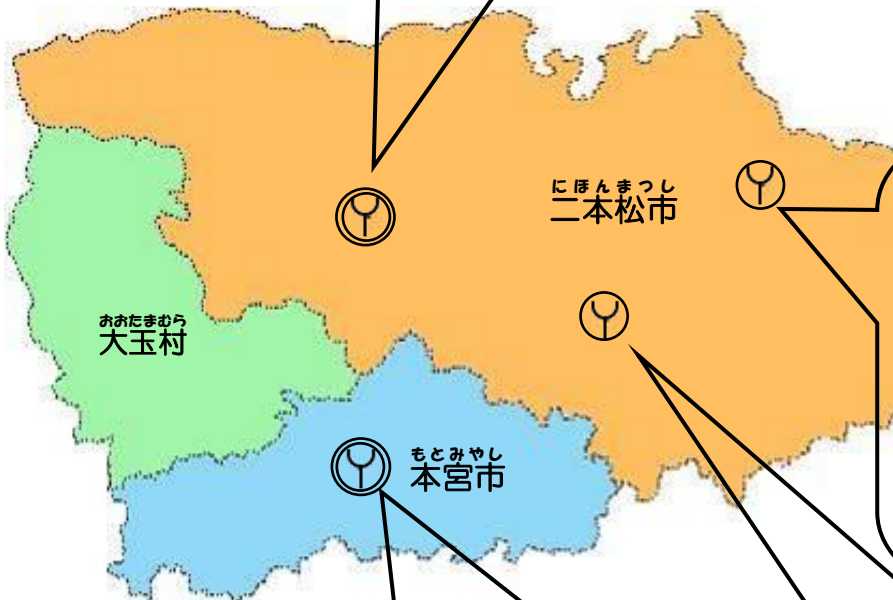
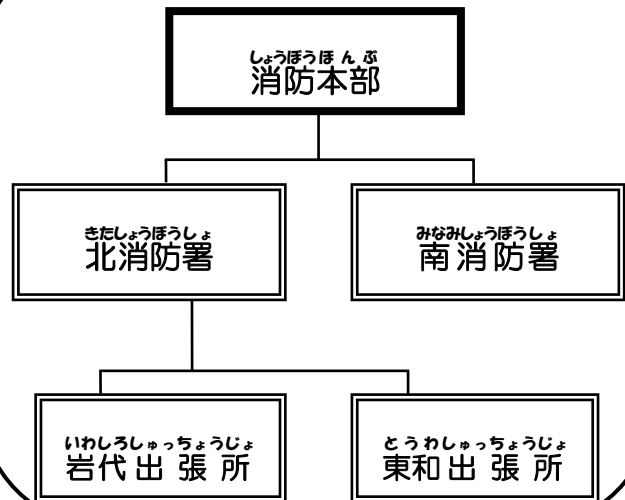
ししょうほうぼうさい
消防防災ヘリコプター

あだちほう しょうぼうしょ しゅつちようじょ
安達地方の消防署（出張所）のあるところ



しょうぼうほんぶ
消防本部・北消防署

しくみ



きたしょうぼうしょ
北消防署

とうわしゅつちようじょ
東和出張所



みなみしょうぼうしょ
南消防署



きたしょうぼうしょ
北消防署

いわしろしゅつちようじょ
岩代出張所

しょうぼうしょ いちにち 消防署の一日



8:30



12:00 13:00

17:30 18:30

きんむ 勤務 こうたい 交代	くるま きざい 車や器材などを てんけん 点検する。	くん れん 訓練 こうじょう 工場などの ちょうさ 調査	昼 食	くん れん 訓練 しょうかせん ぼうかすいどう 消火栓・防火水槽・ どうろ ちょうさ 道路の調査をする	夕 食	しょうらい 書類の せいり 整理など
-------------------------	-------------------------------------	---	--------	--	--------	-----------------------------



22:00

0:00

2:00



4:00

6:00

7:30

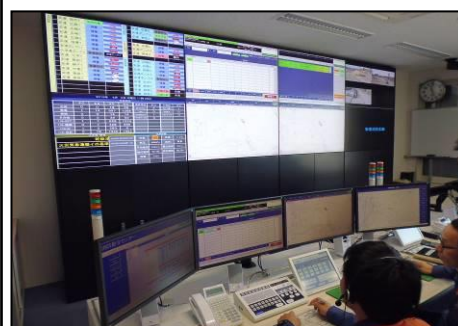
8:30

こうたい 交代でわりあてられた時間の通信勤務につきます。	じかん ふうしんきんむ 通信勤務は2時間です。そのほかの時間は仮眠をします。	せいどう 清掃や むせんき 無線機の テストなど	きんむこうたい 勤務交代 (次のひとと交代する)
---------------------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------



かみんしつ
仮眠室

すぐにしゅどう
活動服を着たま
ま仮眠します。

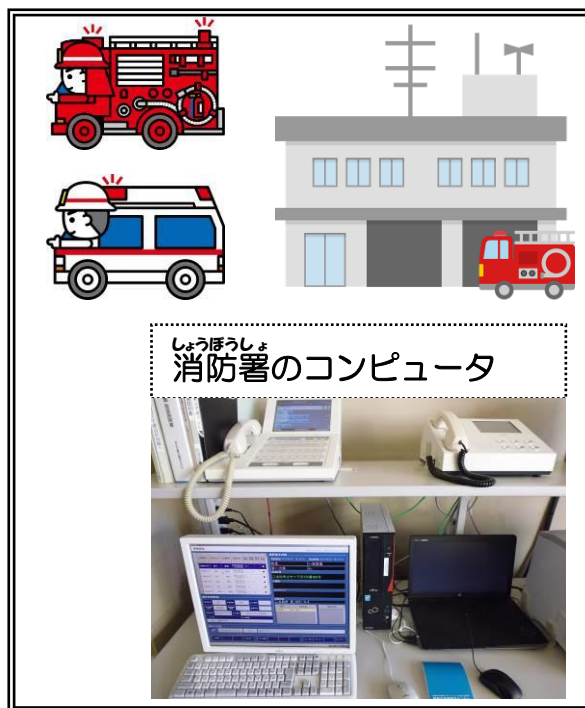
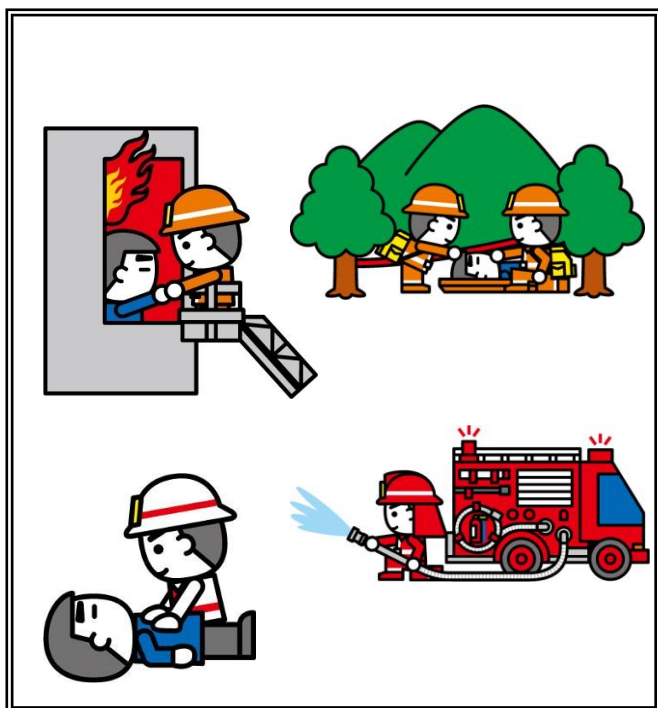
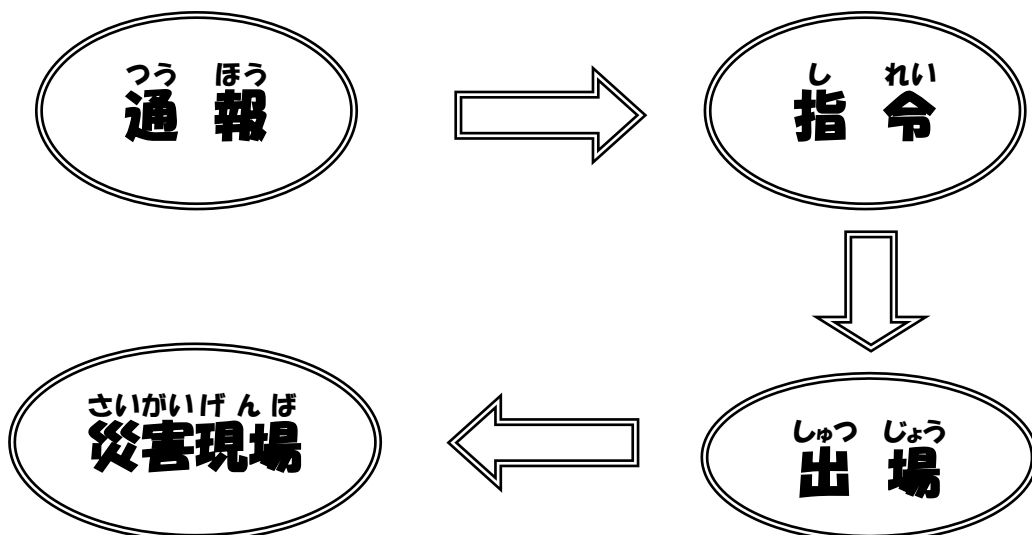


ふうしんきんむ いうす
通信勤務の様子

※ 仮眠とは、すぐに起きることができるように「あさく眠る」ことです。

通報から出動の流れ

令和5年中の119番通報は7032回です！
このうち、携帯電話からのものは3265回です。



しょうぼうしょ 消防署にはどんな車があるか見てみよう



しきしゃ
指揮車 (2台)

かさいげんばやじこげんばでしきするひとのります。

ポンプ車 (4台)

しょうかせん ぼうかすいどう いけ などからみずをすあげて

しょうか 消火したり、タンク車にみずを送ったりします。



みずをすあげるホースです。



みずを送る強さを見るためのけいきがあり、けいさんしながらほうすいしています。



タンク車 (2台)
(水そう付きポンプ車)

みずをつんでかさいげんばちか
しょうかあたります。

ホースつなぐところは、車の左右に合わせて4つあります。

この車にはおよそ2.0トンの水をつんでいます。)

かさい
火災のときは、いろいろな消防車が
かさいげんば
火災現場にかけつけます。





かがくしゃ
化学車 (2台)

みず 水では消えない油 火災のときなど、泡を
つくり しょうか 作り消火します。

し きざいうんぱんしゃ
資器材運搬車 (1台)

かわ いけ お すいじょうじ こ つか
川や池で起きた水上事故に使うボート
など、あお 大きなものを運びます。



きゅうじょこうさくしゃ
救助工作車 (2台) 火災や洪水、車の事故など、人を助けるための
どうぐ やく しゅるい げんば
道具(約70種類)をつんで現場にかけつけます。



クレーンで重いものを持ち
あ ち上げることができます。





はしご車 (1台)

はしごをのばすとおよそ30メートルの高さまでとどきます。はしごの先端から水を出して消火したり、逃げ遅れた人を助けたりします。

はしごの先端には、大人3人まで乗せることができます。



火災のときに使うホースと管そう



管そう

ホースの先端に取り付けて使います。水をまっすぐ飛ばしたり、霧状に広げて放水することができます。

ホース

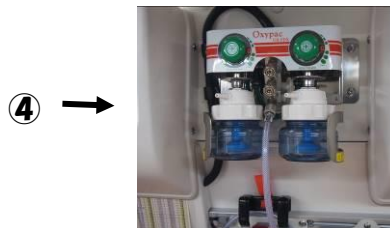
1本の長さは20メートル
直径50ミリと65ミリの2種類
重さは約3キロから5キログラム
ホースや管そうと簡単につないだり、外したりすることができます。

救急車 (6台)

あだちほう きゅうきゅうしゃない いちれい
安達地方にある救急車内の一例



- 救急車には、救命士などの救急隊員が3人ほど乗って出場します。
車の中には、応急手当をする器具のほかに、無線機や携帯電話もあり、
病院と連絡を取りあって、少しでも早く治療が受けられるようにしています。



- ① 吸引器 : 口の中やのどにつまった食べ物を吸いとる。
② 生体情報モニタ : 心電図 (心臓の動きを見るもの) の記録や、血圧を計る。
③ 除細動器 : 電気の力を使って不規則に震えている心臓を正常な動きにもどす。
④ 吸入ユニット : 酸素マスクなどをつないで酸素を与える。

これらのほかにもおおよそ30種類の応急手当資器材が救急車に備えてあります。

活動時の服装

(体を保護するため、手袋、ヘルメットなどを必ず着用します。)

火を消すときの消防隊の服装



空気呼吸器
といいます。
重さはおよそ10kg
あります。

救助（レスキュー）隊の服装



消火に使う「消火栓」「防火水そう」

地上に出ているもの



地中にうめられているもの



地中の
防火水そう



令和6年4月1日現在

	にほんまつし 二本松市	もとみやし 本宮市	おおたまむら 大玉村	計
しょうかせん 消火栓	1090	581	390	2061
ぼうかすい 防火水そう	722	255	62	1039

かさい ぶせ しごと 火災を防ぐ仕事

けん さ 検 査

たてもの ひつよう しょうぼうようせつび ただ つ けんさ
建物に必要な消防用設備が正しく付いているかを検査します。



かさい げんいんちょうさ 火災の原因調査

かさい お げんいん しら おな
火災が起きた原因を調べて、同じような
かさい お よぼう しごと
火災が起きないように予防する仕事です。



ほうかしどう 防火指導



ぼうかきょうつ や 避難 訓練 の指導 など を し ます。
消火器の取扱いや、火災になったときにあわてず
避難することができるように指導します。

また、高齢者で一人暮らしをしている人の家に
訪問し、火災にならないように指導しています。

あだちちほう しょうぼうしよ しゅつちようじよ しょうぼうしや かず
安達地方の消防署（出張所）にある消防車の数

	きたしょうぼうしよ 北消防署	いわしろしゅつちようじよ 岩代出張所	とうわしゅつちようじよ 東和出張所	みなみしょうぼうしよ 南消防署	計（台）
きゅうきゅうしや 救 急 車	2	1	1	2	6
ポンプ車	1	1	1	1	4
タンク車	1			1	2
かがくしや 化 学 車	1			1	2
きゅうじょこうさくしや 救 助 工 作 車	1			1	2
はしご車	1				1
しれいしや 指 令 車	1				1
しきしや 指 揮 車	1			1	2
ささつこうほうしや 査 察 広 報 車	4	1	1	2	8
しきざいうんぱんしや 資 機 材 運 搬 車	1				1
ボートトレーラー				1	1
計（台）	14	3	3	10	30

きゅうきゅうしや だい ひじょうよう だい
※救急車は6台のほかに非常用のものが1台あります。

しょうぼうだん 消防団とは

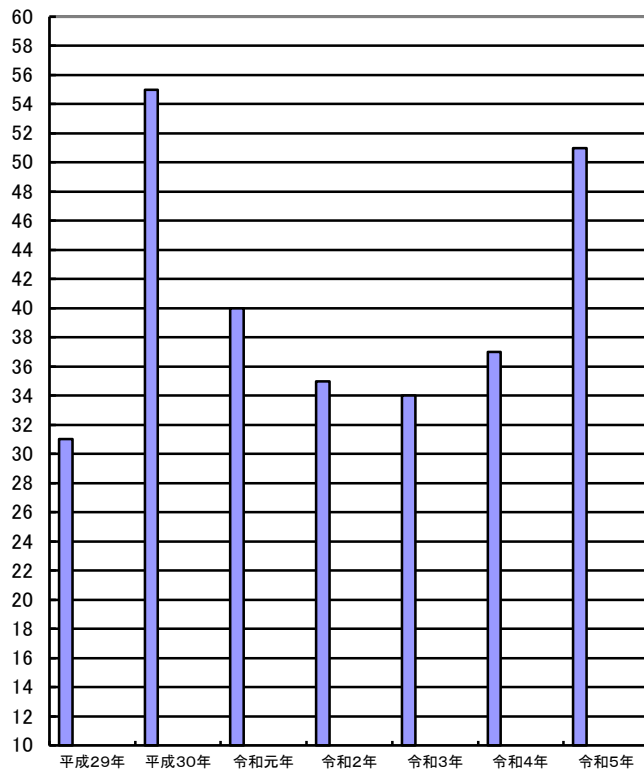
しょうぼうだん ひと かいしや はたら みせ のうか しごと
消防団の人は、いつもは会社で働いていたり、お店や農家などの仕事をしていますが、
かさい お とき しゅつどう しょうぼうしよ ちから あ ひ ようじん よ
火災などが起きた時には出動します。また、消防署と力を合わせて「火の用心」を呼び
かけるなど地域の人たちを守るための仕事をしています。

（令和6年4月1日現在の数）

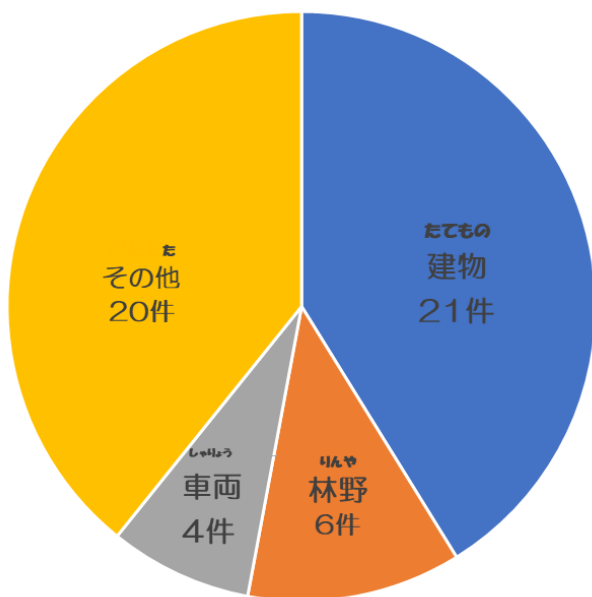
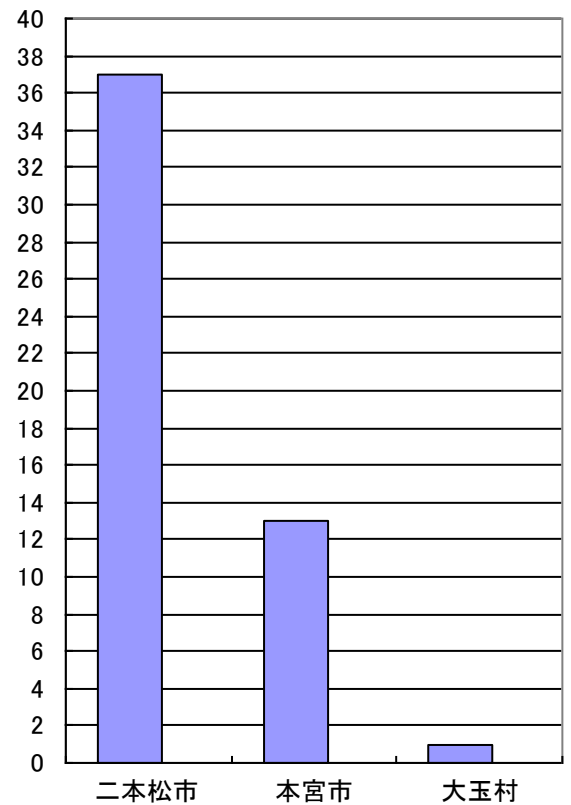
	にほんまつし 二本松市	もとみやし 本宮市	おおたまむら 大玉村	計
人員（人）	1407	441	157	2005
車両（台）	108	37	17	162

火災の件数

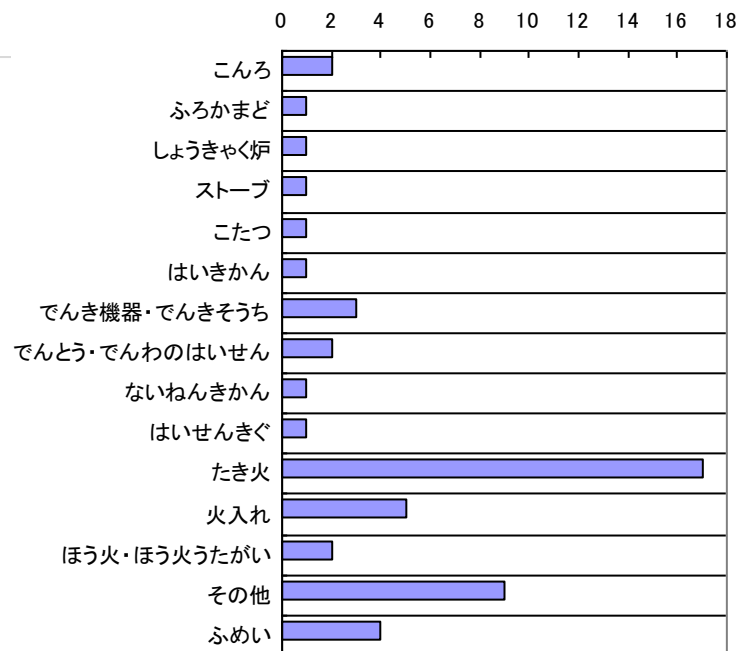
過去7年間の件数



市村ごとの件数（令和5年中）



燃えたものごとの件数
（令和5年中）



火災の主な原因
（令和5年中）

救急車の出動件数と事故種別

安達地方では、令和5年中の1年間に、救急車は4602件出場しました。
これは、1日あたり約13回出場したことになります。

	火災	水なん 自然災害	交通 じこ 事故	仕事中の ケガなど	運動中の ケガ	その他の ケガなど	急病	その他 転倒搬送など	計
二本松市	3		123	47	24	453	1906	336	2892
本宮市	4		89	28	2	218	888	133	1362
大玉村			36	3	1	53	220	9	322
高速道路			13			4	9		26
その他の地区									0
計	7	0	261	78	27	728	3023	478	4602

(単位：件)

安達地方では、6台の救急車がいつでも出場できるようにしています。

(北消防署2台 南消防署2台 東和・岩代出張所 各1台 ※非常用救急車1台)



病気で苦しんでいる人やひどいケガをしている人を見つけたら、近くの大人に知らせるか、119番に電話してください。

※ 消防職員は、普段から住民の方に対し人工呼吸や応急手当のやり方を教えています。



訓練 など



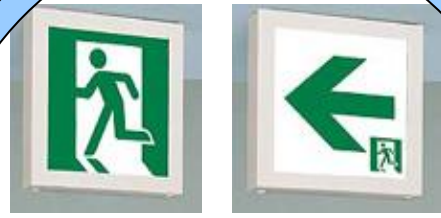
左の写真は、訓練塔です。

右側の建物は17メートルの高さがあり、ロープで昇ったり降りしたりします。また、左側の建物との間にロープを渡しそれを行き来するなどの訓練をしています。



おぼえておこう

煙は、1秒間に3～7メートル上に昇り、0.3～1メートルの速さで横に広がります。有毒ガスを吸い込むと、体が動かなくなります。(人の歩く速さは、1秒間に0.5メートル)



もし、とっさに建物の中から外へ避難するときは、非常口のマークを指しですばやく出ましょう。

◎ 消火器の使い方

火災を見つけたら、まずは「火事だー！」と大きな声で叫び、周りの人に知らせましょう。



消火器の放射時間は10秒から15秒ほど、放射距離は3から5メートルほどです。

火災・救急の電話は119番です。

119番通報すると指令センターに電話がつながります。聞かれたことに対して一つ一つ落ち着いて答えましょう。

はじめに、「火災」、「救急」のどちらなのかを伝えましょう。

次に、住所・名前※自分の家ではないときは目標(近くのお店の名前や建物など)・電話番号やどうしたのかを伝えてください。

※万が一のとき、自分でも通報ができるように、普段から自分の家の住所や電話番号を言えるようにしておきましょう。

ボクはとりカエル。

じゅうたくようか さいけいほうき
「住宅用火災警報器」

べんきょう
についていっしょに勉強しよう！



じゅうたくようか さいけいほうき
Q.住宅用火災警報器ってなに？

いえ なか かさい お けむり おつ かんち けいほうおん な
家の中で火災が起きたとき、煙や熱を感知して、警報音を鳴らし、火災を知らせてくれるものです。

Q.どこにつければいいの？

ね へや ね へや かい かいだん かなら
寝る部屋と、寝る部屋が2階のときは階段に必ずつけなければいけません。

だいどころ あんしん
台所などにもつけるとさらに安心です。



と あんしん
Q. 1度つければもう安心？

じゅうたくようか さいけいほうき ほんとし かいてんけん お
住宅用火災警報器は、半年に1回点検（ボタンを押すか、ひもをひいてメッセージが流れるか確認する）、10年をめやす ほんたい こうかん をしまししょう。

ひと てんけん
おうちの人といっしょに点検してみよう。

たいせつ いのち まも けいほうき
みんなの大切な命を守る警報器。

ねん
10年たったらとりカエル。

おぼ
覚えておいてね！



メモ

かなら まも

必ず守ろう！

^{ひ あそ}
1火遊びはしない。

^{はなび} ^{おとな}
2花火をするときは大人といっしょにする。

^{ちか}
3ストーブなどの近くに、ものをおかない。

